

手元流動性

2022年度の手元流動性（全産業・全規模）は19.7%
※製造業（全規模）17.6%、非製造業（全規模）20.5%

（1）財務指標の説明

手元流動性とは、流動的な資産の売上高に対する割合を言い、企業の短期的な支払能力を計る尺度です。

手元流動性比率が高いほど一般的に安全性が高いと判断されますが、手元流動性が高すぎると、企業が営業活動から得られた資金を再投資せず、手元の資金を寝かせていると捉えることもできます。

$$\text{手元流動性}(\%) = \frac{(\text{現金・預金} + \text{有価証券})[\text{期首・期末平均}]}{\text{売上高}} \times 100$$

貸借対照表

資産の部	負債の部
I 流動資産 現金・預金 有価証券	I 流動負債 II 固定負債
II 固定資産	純資産の部
III 繰延資産	I 株主資本 II 評価・換算差額等 III 新株予約権
資産合計	総資本（負債・純資産合計）

損益計算書

I 売上高
II 売上原価 売上総利益
III 販管費 営業利益
IV 営業外損益 経常利益
V 特別損益 税引前当期純利益
VI 法人税等 当期純利益

(2) グラフで見る最近の動き

2022年度は、製造業では流動性資金が対前年度比で減少したことから手元流動性が低下していることに加え、非製造業では流動性資金の対前年度増加率が売上高の増加率を下回ったことから手元流動性は低下しており、全産業で見た手元流動性は前年度比で低下しています。

